

令和元年度学校評価 結果

鳥根県立隠岐島前高等学校

* 肯定的意見の割合は、全回答者の内(回答0も含む)3または4を回答した者の割合

	評価項目	生徒による評価(4点満点)						保護者による評価(4点満点)						肯定的意見(生徒)						肯定的意見(保護者)						教員自身による自己点検評価						
		1年	2年	3年	全体	H30	H29	1年	2年	3年	全体	H30	H29	1年	2年	3年	全体	H30	H29	1年	2年	3年	全体	H30	H29	平均	H30	H29	肯定的	H30	H29	課題と対策
総務	質問 1	3.3	3.4	3.3	3.3	2.8	2.8	3.7	3.5	3.3	3.5	3.1	3.1	78.9	81.0	72.4	76.8	53.7	54.4	93.8	95.0	84.0	90.2	78.5	75.0	3.8	3.2	3.1	100.0	89.7	87.1	HPがリニューアルされ、即時性とより多くの情報をUPすることを心がけた結果が高評価につながったものと考えられる。しかし、まだまだ埋もれている情報があり、十分に情報管理できていない部分がある。特に部活動の情報をより多く掲載できるように努めたい。今後、担当の増員、情報収集の流れ作りなど考えて、よりよいものとなるようにしたい。今年度より鳥前高校だよりは見やすさを考えカラープリントを配布するようにした。受け取り側の立場に立った取り組みを行いたい。
	質問 2	3.5	3.2	3.0	3.2	3.1	3.1	3.6	3.4	3.2	3.4	3.0	3.1	76.3	83.3	55.2	69.6	67.7	60.9	78.1	75.0	78.0	77.0	68.1	68.2	3.2	3.3	3.4	89.7	89.7	93.5	昨年同様、年度当初に連絡網作成をし、電話番号の確認を行った。悪天候が予想される場合は、あらかじめHP掲載の準備をし、休校が決まり次第すぐに対応することができた。
	質問 3、保護者							3.4	3.2	3.2	3.2	3.2	3.0							81.3	72.5	74.0	75.4	79.9	68.2	3.2	3.3	3.4	89.7	89.7	93.5	PTA行事について学校と地域と保護者が連携をしながら活動を行っていると思えますか
	質問 3、生徒	3.0	2.9	3.0	3.0	3.1	2.8							68.4	69.0	70.7	69.6	81.1	63.9							3.4	3.3	3.1	100.0	93.1	80.6	職員からは高評価であったが、生徒からの評価が比較的低いことに対して、訓練内容の見直しを強く感じた。消防署と連携し、プライント型の避難訓練を実施するなど実践的な訓練内容に次年度以降取り組んでいきたい。
教務	質問 4	3.0	2.7	3.0	2.9	2.9	2.8	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	2.9	81.6	59.5	72.4	71.0	72.6	61.5	81.3	75.0	72.0	75.4	68.1	66.7	2.7	2.9	2.9	72.4	75.9	74.2	本校は、主体的・対話的で深い学びを促す授業や習熟度別授業などを取り入れ、学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられる授業を行っていると思えますか
	質問 5	3.6	2.9	3.1	3.2	3.2	3.1	3.6	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	94.7	66.7	77.6	79.0	82.9	78.7	90.6	72.5	88.0	83.6	82.6	83.3	3.4	3.4	3.5	86.2	82.8	93.5	夢探究をはじめとする多くの教科で、地域の方々にご協力頂きながら学びを深めている。ポートフォリオの有効活用や、資料や情報の分析および共有により様々な視点を繋げる探究活動を目指し、島前地域全体での特色ある授業づくりを展開していきたい。(2年部)夢探究の授業がチームによる探究活動がメインであり、外部講師による講演などの機会が少なかつたためと考えられる。3学期は個人による進路探究に変わっていくので、機会があれば外部との連携を考えていく。
	質問 6	3.5	3.7	3.7	3.6	3.1	2.9	3.1	3.5	3.3	3.3	2.9	2.9	97.4	90.5	87.9	91.3	79.3	68.6	62.5	65.0	62.0	63.1	50.7	50.0	3.3	2.9	2.6	93.1	62.1	61.3	本校は、学校図書館において、生徒の興味・関心を広げ、教養を高めるような新着図書や資料を提供するなど、利用しやすい図書館づくりに取り組んでいると思えますか
生徒	質問 7	2.8	2.6	2.6	2.7	2.7	2.8	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0	2.9	52.6	50.0	44.8	48.6	54.3	58.6	56.3	67.5	70.0	65.6	56.3	53.8	2.2	2.8	2.6	34.5	69.0	58.1	生徒が「高校生活のしおり」に則った身なり・振る舞いが行えるよう、指導できましたか
	質問 8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.8	3.0	3.4	2.9	3.0	3.1	3.0	3.0	55.3	61.9	53.4	56.5	62.8	68.0	71.9	65.0	66.0	67.2	64.6	64.4	2.6	3.0	3.0	55.2	69.0	74.2	生徒が満足する部活動が行えるよう指導できましたか
	質問 9	2.8	2.9	2.8	2.8	2.9	2.9	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	60.5	64.3	65.5	63.8	68.9	70.4	78.1	75.0	74.0	75.4	77.1	74.2	3.0	3.2	3.2	79.3	89.7	90.3	生徒が安定した学校生活を送ることができよう適切な支援(相談しやすい雰囲気づくりや面談等)が行われていたと思えますか
総務	質問 10	2.9	3.1	2.9	3.0	2.9	2.6	3.3	3.4	3.3	3.3	3.1	3.0	60.5	64.3	46.6	55.8	52.4	46.7	68.8	57.5	58.0	60.7	60.4	45.5	3.0	2.8	2.9	75.9	72.4	74.2	寮生が団結した寮生活を送るための指導・支援を行うことができましたか
キャリア教育	質問 11	3.1	2.9	3.1	3.0	2.9	3.0	3.0	2.9	3.0	3.0	2.9	2.9	63.2	66.7	77.6	70.3	73.2	71.0	71.9	67.5	66.0	68.0	66.7	63.6	3.1	2.7	2.8	96.6	69.0	71.0	保護者に対する情報提供の機会が不足していた。次年度は、PTA総会や保護者面談期間を利用して進路説明会を計画したい。また、「キャリア教育だより」を発行し、3年間のキャリア教育の流れ、就職、新入試に関する情報を定期的に発信しながら、生徒や保護者からのキャリアに関する疑問や要望を聞いて、内容に反映させていきたい。(3年部)生徒と保護者の割合に差があるが、学年があがるにつれ保護者は進路に関する具体的な情報共有の機会が必要であるかもしれない。
	質問 12	2.9	2.9	3.2	3.0	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9	65.8	61.9	79.3	70.3	65.9	72.2	62.5	67.5	70.0	67.2	70.1	64.4	3.3	2.6	2.8	96.6	65.5	58.1	進路希望調査の内容については、昨年度のものを見直し、生徒の状況がより詳細に把握できるようにした。また、その資料をもとにキャリアプランニング検討会を行い、教職員全体で情報共有をしたうえで、生徒への指導・支援を行っている。生徒からの回答結果をみると、3年生に比べて1年生・2年生の評価が低く、低学年次におけるキャリア教育のあり方に課題があるといえる。総合的な探究の時間やHRだけでなく、各教科の授業においても、最終的に生徒が自走できるように、助言・指導・支援を行うための働きかけを継続する。(1年部)進路が考えられていない生徒も多い中で、進路情報などを今までもより多く出して考える材料づくりをしていく。(3年部)生徒の8割、保護者の7割が、肯定的にとらえている。今後も一人ひとりのニーズに応じたきめ細かな支援を継続する。
	質問 13	3.6	3.2	3.1	3.3	3.0	3.1	3.6	3.3	3.2	3.4	3.3	3.3	94.7	76.2	69.0	78.3	72.0	76.3	93.8	77.5	76.0	81.1	74.3	75.0	3.1	2.9	3.1	79.3	75.9	83.9	1年生では、「夢探究」に魅力を感じて入学してくる生徒も多く、他者との協働、答えのない課題に取り組むことへの喜びが大きいのではないかとと思われる。2年生では、チームでの地域課題解決学習も本格化し、予想以上の困難にぶつかる中で協働する力や課題解決力がまだ足りないと感じていると予想される。3年生では、進路決定をする過程で見つめる世界が広がり、これまで身につけてきたはずの協働する力や課題解決力が、実際に社会で通用するレベルのものなのか不安を感じたり、自己の課題を見出していることが考えられる。自己と向き合い、冷静に自己を分析し、必要な行動につなげられる生徒の育成をめざして、スタディーサポートや学びみらいPASSの有効活用をはかりたい。(3年部)学年が上がるにつれて、チーム探究から個人探究に変化していくため、授業の新鮮さと達成感という意味で、生徒の肯定的意見が低下していくのかもしれない。肯定的意見は全体としては上昇しているため、授業の振り返りと見直しのPDCAを今後も回していきたい。
質問 14	3.1	3.2	3.4	3.3	3.3	3.2	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	73.7	78.6	77.6	76.8	81.0	77.5	93.8	90.0	94.0	92.6	88.2	89.4								